

## 国立病院機構高知病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

### ○研究科題名

- ・リバーズ型人工関節置換術の周術期出血に対するトラネキサム酸の有効性

### ○当院の研究責任者

- ・福田昇司（国立病院機構高知病院総合診療部長）

### ○本研究の目的

- ・トラネキサム酸の術後ドレーンクランプ法により、リバーズ型人工関節置換術の周術期出血が抑制されるかどうかを検討する。周術期出血が抑制できれば、術後の同種輸血を回避できる。

### ○調査データ該当期間

- ・2016年～2019年にリバーズ型人工関節置換術を施行した症例

### ○研究の方法

- ・後向きコホート研究。トラネキサム酸使用開始後の症例をそれ以前の症例と比較し、本法の有用性を評価する。

### ○試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法

- ・他の機関への試料・情報の提供はない。

### ○個人情報の取り扱い

- ・電子カルテから抽出するデータは年齢、性別、身長、体重、術前後のRBC、Hb及び術後出血量であり、個人を特定する生年月日、住所、電話番号等は使用しない。

### ○本研究の資金源（利益相反）

- ・本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業はありません。

○お問い合わせ先

- ・ 国立病院機構高知病院 総合診療部長 福田昇司
- ・ 088-844-3111 (代表)